

資料1 歴史・景観まちづくりの先進事例とその手法

活動団体名	活動地域	事業名称	事業概要
兵庫士会まちづくり委員会	兵庫県神戸市	歴史的建築物保全・再生・活用事業	神戸市内に残存している歴史建造物を把握、調査、研究するとともに、その保全・再生・活用方法を提案・実施。「神戸」や「建築専門団体」あるいは「利活用を推進する団体」と連携したゆるやかなネットワーク組織により、情報を共有し、各々の役割を履行することで達成する。(市と士会との連携のための包括的協定の締結予定) ・Kビル視察調査、対象歴史的建造物の建物悉皆調査・改修設計・法的課題検討、対象歴史的建造物の利活用提案。
奈良士会橿原支部	奈良県橿原市	橿原市歴史的地区における空き家利活用の方策検討	八木地区、今井地区の空き家問題等に対処するため、橿原市所有の既調査資料等をまちづくりNPO等と協力しながら、整理し、問題点を分析、市へ提言。橿原市が策定すべき歴史的地区における空き家活用支援制度等の参考とする。(橿原市が策定する空き家の利活用施策に活用)
和歌山士会	和歌山県串本町	串本町の防災まちづくり	巨大地震に備え、防災まちづくりの観点から、避難路確保等の諸課題について地域住民との事前復興や被災者との復旧復興のワークショップを実施。(応急木造仮設住宅整備計画の策定、応急木造仮設住宅の供給等について、提案。(町と協定締結))
岡山士会	岡山県	自治体との連携強化による歴史まちづくりの推進方策検討事業	有識者で構成する「岡山県歴史的建造物委員会」の設置・運営、普及・啓発活動 ・委員会の目的は、岡山県内の重要伝統的群保存地区および町並み保存地区等の歴史的建造物を官民協働で修復及び修景のための調査・利用方法の提案により、創造的活用を図るとともに伝統的工法の技術継承が進展するための環境整備にある。 ・各支部にヘリテージマネージャーを中心とした「おかやま歴史的建造物見守り隊」を結成し、県内の歴史的建造物の網羅的な把握が可能となる体制を構築。
徳島士会	徳島県美馬市	災害時における避難施設の被災建築物応急危険度判定の協力に関する事業	美馬市内に居住する応急危険度判定士資格を取得している士会会員が、美馬市内で発生する震度5強以上の大地震時に市民が居住する地域の避難所等の応急危険度判定を実施して、避難所の早期開設が可能かどうかの判定行う「災害時防災ボランティア協定」を美馬市と士会とで締結し、地域防災に貢献する。 ・木屋平防災ワークショップ ・市民防災訓練時に応急危険度判定の模擬訓練の実演。等
大分士会臼杵支部	大分県臼杵市	「臼杵市景観形成重点地区ガイドブック」をより具体的に住民、建築主及び建築技術者用に解説した冊子の製作準備	臼杵支部が景観形成重点地区の基準策定のための基礎的調査を担当し、それを参考に臼杵市は、平成25年、景観形成ガイドブックを刊行。それをもとに建築主の理解を得やすく、また、建築技術者の設計・施工時の現場技術書となる詳細な冊子の作成に向けた準備を行う。また、現在、臼杵市が進めている「旧城下町地区における建築基準法緩和施策」によって改められる旧準防火地域の新しい防火仕様、狭あい道路に面する地区の具体的な例も掲載。(市の意向：技術指針の作成に繋げたい。)